

開講年度	令和 2 年度	学期	通年	必修・選択	必修
科目名	キャリアデザイン			担当者名	前期：董 信子 後期：長谷川 靖洋
学科	職業実践科	コース	公務員コース		学年 1年
授業時間	総時間数 1,350 分 総授業回数 30 回			授業形態	講義
	( 45 分授業を、週 1 回で 30 週実施 )			単位数	2単位
授業内容	前期はビジネスマナーおよび面接対策・人との接し方、後期は面接対策・自己分析を行う。				
到達目標	専門学校生、また公務員試験に向かう者としてのビジネスマナーや面接マナーが分かるようになる。また、自己分析により、自分をより深く知り、自己PRにつなげられるようになる。				
担当教員 実務経験	董：客室乗務員として国際線に乗務し、機内通訳や機内アナウンスも担当。この経験から学んだことをもとに、面接対策だけでなく、社会人として必要なマナーや良いコミュニケーションの取り方なども伝えていく。 長谷川：学習塾を経営する会社での講師経験や情報システム会社での失業者職業訓練の経験を活かし、公務員試験対策と学習方法について、分かりやすく指導する。				
使用教材	プリントを使用				

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
1	4/7(火)	1	ガイダンス ※担当：長谷川	
2	4/14(火)	1	自己分析 (自身の長所・短所・強みを確認)	
3	4/21(火)	1	身だしなみとおしゃれの違い	
4	5/12(火)	1	第一印象に必要な5要素 ① 挨拶	
5	5/19(火)	1	第一印象に必要な5要素 ②表情…笑顔・視線	
6	5/26(火)	1	第一印象に必要な5要素 ③立居振舞	
7	6/2(火)	1	第一印象に必要な5要素 ④美しい日本語…声・発声	
8	6/9(火)	1	第一印象に必要な5要素 ④美しい日本語…言葉遣い・敬語	
9	6/16(火)	1	第一印象に必要な5要素 ⑤身だしなみ(前半)	
10	6/23(火)	1	第一印象に必要な5要素 ⑤身だしなみ(後半)	
11	6/30(火)	1	既出質問研究	
12	7/7(火)	1	面接対策① (グループ面接中心)	
13	7/14(火)	1	面接対策② (グループディスカッション中心)	
14	7/21(火)	1	模擬面接① (グループ面接中心)	
15	7/28(火)	1	模擬面接② (グループディスカッション中心)	
定期試験	なし			
評価基準	学習過程評価 (平常点)	100 %	学習成果評価 (定期試験)	0 %

開講年度	令和 2 年度	学期	通年	必修・選択	必修
科目名	キャリアデザイン			担当者名	前期：董 信子 後期：長谷川 靖洋
学科	職業実践科	コース	公務員コース		学年 1年

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
16	9/29(火)	1	公務員試験・1次試験が終わり	
17	10/6(火)	1	面接対策①	
18	10/13(火)	1	面接対策②	
19	10/20(火)	1	面接対策③	
20	10/27(火)	1	面接対策④	
21	11/10(火)	1	面接対策⑤	
22	11/17(火)	1	社会研修の準備	
23	11/24(火)	1	グループワーキング①	
24	12/1(火)	1	グループワーキング②	
25	12/8(火)	1	グループワーキング③	
26	12/15(火)	1	グループワーキング④	
27	12/22(火)	1	自己分析①	
28	1/12(火)	1	自己分析②	
29	1/19(火)	1	1年を振り返って	
30	1/26(火)	1	まとめの授業	

開講年度	令和 2 年度	学期	通年	必修・選択	必修
科目名	人間関係論			担当者名	長谷川 靖洋
学科	職業実践科	コース	公務員コース		学年 1年
授業時間	総時間数 1,350 分		総授業回数 30 回		授業形態 講義
	( 45 分授業を、週 1 回で 30 週実施 )				単位数 2単位
授業内容	ホームルームとしてクラスの結束を固め、社会での生き方を考える。				
到達目標	人を見る目を養い、団円で協力ができるようになる。				
担当教員 実務経験	学習塾を経営する会社での講師経験や情報システム会社での失業者職業訓練の経験を活かし、公務員試験対策と学習方法について、分かりやすく指導する。				
使用教材	プリントを使用				

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
1	4/7(火)	1	ガイダンス・クラスの考え方	
2	4/14(火)	1	適性検査・学習内容の復習	
3	4/21(火)	1	適性検査・学習内容の復習	
4	5/12(火)	1	適性検査・学習内容の復習	
5	5/19(火)	1	適性検査・学習内容の復習	
6	5/26(火)	1	適性検査・学習内容の復習	
7	6/2(火)	1	適性検査・学習内容の復習	
8	6/9(火)	1	適性検査・学習内容の復習	
9	6/16(火)	1	適性検査・学習内容の復習	
10	6/23(火)	1	適性検査・学習内容の復習	
11	6/30(火)	1	適性検査・学習内容の復習	
12	7/7(火)	1	適性検査・学習内容の復習	
13	7/14(火)	1	適性検査・学習内容の復習	
14	7/21(火)	1	適性検査・学習内容の復習	
15	7/28(火)	1	適性検査・学習内容の復習	

定期試験	なし			
評価基準	学習過程評価 (平常点)	100 %	学習成果評価 (定期試験)	0 %

開講年度	令和 2 年度	学期	通年	必修・選択	必修
科目名	人間関係論			担当者名	長谷川 靖洋
学科	職業実践科	コース	公務員コース		学年 1年

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
16	9/29(火)	1	公務員試験・1次試験が終わり	
17	10/6(火)	1	面接対策①	
18	10/13(火)	1	面接対策②	
19	10/20(火)	1	面接対策③	
20	10/27(火)	1	面接対策④	
21	11/10(火)	1	面接対策⑤	
22	11/17(火)	1	社会研修の準備	
23	11/24(火)	1	グループワーキング①	
24	12/1(火)	1	グループワーキング②	
25	12/8(火)	1	グループワーキング③	
26	12/15(火)	1	グループワーキング④	
27	12/22(火)	1	自己分析①	
28	1/12(火)	1	自己分析②	
29	1/19(火)	1	1年を振り返って	
30	1/26(火)	1	まとめの授業	

開講年度	令和 2 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	判断推理演習 I			担当者名	長谷川 靖洋
学科	職業実践科	コース	公務員コース		学年 1年
授業時間	総時間数 2,700 分 総授業回数 30 回			授業形態	講義
	( 90 分授業を、週 2 回で 15 週実施 )			単位数	4単位
授業内容	公務員試験の出題分野である「判断推理」を一から講義・演習し、解説を行う。				
到達目標	判断推理の知識を修得し、公務員試験が解けるようになる。				
担当教員 実務経験	学習塾を経営する会社での講師経験や情報システム会社での失業者職業訓練の経験を活かし、 公務員試験対策と学習方法について、分かりやすく指導する。				
使用教材	公務員合格ゼミ 判断推理 (いづな書店)				

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
1	4/7(火)	2	ガイダンス I-1 命題・論理	
2	4/10(金)	2	I-1 命題・論理	
3	4/14(火)	2	I-2 暗号・規則性	
4	4/17(金)	2	I-3 試合と勝敗に関する問題	
5	4/21(火)	2	I-3 試合と勝敗に関する問題	
6	4/24(金)	2	I-4 うそと本当の問題	
7	5/1(金)	2	I-4 うそと本当の問題	
8	5/8(金)	2	I-5 対応関係	
9	5/12(火)	2	I-5 対応関係	
10	5/15(金)	2	I-6 順位・順序(1)	
11	5/19(火)	2	I-6 順位・順序(1)	
12	5/22(金)	2	I-8 順位・順序(2)	
13	5/26(火)	2	I-8 順位・順序(2)	
14	5/29(金)	2	I-9 比較	
15	6/2(火)	2	I-10 手順	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価 (平常点)	20 %	学習成果評価 (定期試験)	80 %

開講年度	令和 2 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	判断推理演習 I			担当者名	長谷川 靖洋
学科	職業実践科	コース	公務員コース		学年 1年

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
16	6/5(金)	2	I-10 手順	
17	6/9(火)	2	I-11 曜日に関する問題	
18	6/12(金)	2	I-12 位置	
19	6/16(火)	2	I-12 位置	
20	6/19(金)	2	I-13 方位	
21	6/23(火)	2	I-14 道順	
22	6/26(金)	2	II-1 平面図形の分割と構成	
23	6/30(火)	2	II-2 平面図形の個数	
24	7/3(金)	2	II-3 立体図形の分割と個数 II-4 立体の個数	
25	7/7(火)	2	II-5 立方体の展開図 II-6 立方体以外の展開図	
26	7/10(金)	2	II-7 折り紙	
27	7/14(火)	2	II-8 投影図・見取図 II-9 さいころ	
28	7/17(金)	2	II-10 軌跡	
29	7/21(火)	2	II-11 断面図・回転図	
30	7/28(火)	2	まとめの授業	

開講年度	令和 2 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	数的推理演習 I			担当者名	竹野 富之
学科	職業実践科	コース	公務員コース		学年 1年
授業時間	総時間数 2,700 分 総授業回数 30 回			授業形態	講義
	( 90 分授業を、週 2 回で 15 週実施 )			単位数	4単位
授業内容	公務員試験の出題分野である「数的推理」を一から講義・演習し、解説を行う。				
到達目標	数的推理の知識を修得し、公務員試験が解けるようになる。				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	公務員合格ゼミ 数的推理 (いづな書店)				

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
1	4/8(水)	2	ガイダンス I-1 虫食い算	
2	4/9(木)	3	I-1 虫食い算	
3	4/15(水)	2	I-2 魔方陣	
4	4/16(木)	3	I-3 倍数と約数	
5	4/22(水)	2	I-3 倍数と約数	
6	4/23(木)	3	I-4 整数問題	
7	4/30(木)	3	I-4 整数問題	
8	5/7(木)	3	I-5 数の性質	
9	5/13(水)	2	I-5 数の性質	
10	5/14(木)	3	I-6 方程式・不等式	
11	5/20(水)	2	I-6 方程式・不等式	
12	5/21(木)	3	I-6 方程式・不等式	
13	5/27(水)	2	I-7 集合	
14	5/28(木)	3	I-7 集合	
15	6/3(水)	2	I-8 割合・百分率	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価 (平常点)	20 %	学習成果評価 (定期試験)	80 %

開講年度	令和 2 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	数的推理演習 I			担当者名	竹野 富之
学科	職業実践科	コース	公務員コース		学年 1年

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
16	6/4(木)	3	I-8 割合・百分率	
17	6/10(水)	2	I-9 濃度	
18	6/11(木)	3	I-9 濃度	
19	6/17(水)	2	I-10 対比	
20	6/18(木)	3	I-11 利益	
21	6/24(水)	2	I-11 利益	
22	6/25(木)	3	I-12 速さ	
23	7/1(水)	2	I-12 速さ	
24	7/2(木)	3	I-12 速さ	
25	7/8(水)	2	I-13 場合の数	
26	7/9(木)	3	I-14 確率	
27	7/15(水)	2	I-14 確率	
28	7/16(木)	3	II-1 三平方の定理	
29	7/22(水)	2	II-2 円・おうぎ形の面積	
30	7/27(月)	3	II-3 立体の体積と表面積	



開講年度	令和 2 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	自然科学演習 I			担当者名	長谷川 靖洋
学科	職業実践科	コース	公務員コース		学年 1年
授業時間	総時間数 2,700 分 総授業回数 30 回			授業形態	講義
	( 90 分授業を、週 2 回で 15 週実施 )			単位数	4単位
授業内容	公務員試験の出題範囲である「自然科学」のうち、生物・化学の分野について講義を行い、公務員試験の出題傾向を知る。				
到達目標	公務員試験「自然科学」（生物・化学分野）が解けるようになる。				
担当教員 実務経験	学習塾を経営する会社での講師経験や情報システム会社での失業者職業訓練の経験を活かし、公務員試験対策と学習方法について、分かりやすく指導する。				
使用教材	公務員合格ゼミ 理科（いいずな書店）				

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
1	4/8(水)	2	ガイダンス Ⅲ－1 生命の連続	
2	4/10(金)	3	Ⅲ－1 生命の連続	
3	4/15(水)	2	Ⅲ－1 生命の連続	
4	4/17(金)	3	Ⅲ－2 同化と異化	
5	4/22(水)	2	Ⅲ－2 同化と異化	
6	4/24(金)	3	Ⅲ－2 同化と異化	
7	5/1(金)	3	Ⅲ－3 ヒトの体内環境(1)	
8	5/8(金)	3	Ⅲ－3 ヒトの体内環境(1)	
9	5/13(水)	2	Ⅲ－4 ヒトの体内環境(2)	
10	5/15(金)	3	Ⅲ－4 ヒトの体内環境(2)	
11	5/20(水)	2	Ⅲ－5 生物の集団	
12	5/22(金)	3	Ⅲ－5 生物の集団	
13	5/27(水)	2	Ⅱ－1 物質の構成	
14	5/29(金)	3	Ⅱ－1 物質の構成	
15	6/3(水)	2	Ⅱ－1 物質の構成	

定期試験	筆記		
評価基準	学習過程評価（平常点）	20 %	学習成果評価（定期試験） 80 %

開講年度	令和 2 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	自然科学演習 I			担当者名	長谷川 靖洋
学科	職業実践科	コース	公務員コース		学年 1年

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
16	6/5(金)	3	Ⅱ-2 非金属の物質	
17	6/10(水)	2	Ⅱ-2 非金属の物質	
18	6/12(金)	3	Ⅱ-3 金属の物質	
19	6/17(水)	2	Ⅱ-3 金属の物質	
20	6/19(金)	3	Ⅱ-4 酸化還元	
21	6/24(水)	2	Ⅱ-4 酸化還元	
22	6/26(金)	3	Ⅱ-4 酸化還元	
23	7/1(水)	2	Ⅱ-5 化学反応と量	
24	7/3(金)	3	Ⅱ-5 化学反応と量	
25	7/8(水)	2	Ⅱ-5 化学反応と量	
26	7/10(金)	3	生物・化学分野過去問演習	
27	7/15(水)	2	生物・化学分野過去問演習	
28	7/17(金)	3	生物・化学分野過去問演習	
29	7/22(水)	2	生物・化学分野過去問演習	
30	7/27(月)	2	まとめの授業	

開講年度	令和 2 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	人文科学演習 I			担当者名	竹野 富之
学科	職業実践科	コース	公務員コース		学年 1年
授業時間	総時間数 2,700 分 総授業回数 30 回			授業形態	講義
	( 90 分授業を、週 2 回で 15 週実施 )			単位数	4単位
授業内容	公務員試験の出題分野である「日本史・世界史」を分野を絞って一から講義し、過去問の解説を行う。				
到達目標	日本史・世界史の知識を修得し、公務員試験が解けるようになる。				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	"絶対"合格シリーズ 人文科学 (麻生キャリアサポート)				

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
1	4/8(水)	1	ガイダンス 世22 中国史①/世23 中国史②	
2	4/9(木)	4	日11 近世1(安土桃山時代) 日12 近世2(江戸時代1)	
3	4/15(水)	1	世24 中国史③ 世25 中国史④	
4	4/16(木)	4	日13 近世3(江戸時代2) 日14 近世4(江戸時代3)	
5	4/22(水)	1	世26 中国史⑤ 世27 中国史⑥	
6	4/23(木)	4	日15 近世5(江戸時代4) 日16 近世6(江戸時代5)	
7	4/30(木)	4	世28 中国史⑦ 世29 中国史⑧	
8	5/7(木)	4	日17 近世7(江戸時代6) 日18 近代1(明治1)	
9	5/13(水)	1	世30 中国史⑨ 世31 中国史⑩	
10	5/14(木)	4	日19 近代2(明治2) 日20 近代3(明治3)	
11	5/20(水)	1	世32 中国史⑪ 世33 中国史⑫	
12	5/21(木)	4	日21 近代4(明治4) 日22 近代5(大正)	
13	5/27(水)	1	世6 近代ヨーロッパ① 世7 近代ヨーロッパ②	
14	5/28(木)	4	日23 近代6(昭和1) 日24 近代7(昭和2)	
15	6/3(水)	1	世8 近代ヨーロッパ③ 世9 市民革命①	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価 (平常点)	20 %	学習成果評価 (定期試験)	80 %

開講年度	令和 2 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	人文科学演習 I			担当者名	竹野 富之
学科	職業実践科	コース	公務員コース	学年	1年

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
16	6/4(木)	4	日25 現代1(戦後1) 日26 現代2(戦後2)	
17	6/10(水)	1	世10 市民革命② 世11 市民革命③	
18	6/11(木)	4	日30 文化史4 日31 文化史5	
19	6/17(水)	1	世12 ナポレオン時代 世13 産業革命	
20	6/18(木)	4	日32 文化史6 近現代のまとめ	
21	6/24(水)	1	世14 19~20Cのヨーロッパ① 世15 19~20Cのヨーロッパ②	
22	6/25(木)	4	日1 古代1~日3 古代3	
23	7/1(水)	1	世16 帝国主義から世界大戦へ 世17 ロシア革命と戦後の国際社会	
24	7/2(木)	4	日4 古代4~日6 古代6	
25	7/8(水)	1	世18 戦間期の欧米諸国 世19 第二次世界大戦	
26	7/9(木)	4	日7 中世1(鎌倉時代初期) 日8 中世2(鎌倉時代中期以降)	
27	7/15(水)	1	世20 戦後と冷戦のはじまり 世21 冷戦の拡大、各国の首脳	
28	7/16(木)	4	日9 中世3(南北朝~室町初期) 日10 中世4(室町中期以降~)	
29	7/22(水)	1	世1~5 古代~中世ヨーロッパ	
30	7/27(月)	1	まとめの授業	

開講年度	令和 2 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	社会科学演習 I			担当者名	加藤 佳明
学科	職業実践科	コース	公務員コース		学年 1年
授業時間	総時間数 2,700 分 総授業回数 30 回			授業形態	講義
	( 90 分授業を、週 2 回で 15 週実施 )			単位数	4単位
授業内容	公務員試験科目の政治・経済分野対策				
到達目標	各公務員試験の政治・経済分野において満点を取る				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	絶対合格シリーズ 社会科学 問題集編				

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
1	4/6(月)	4	民主主義	
2	4/9(木)	1	政治制度	
3	4/13(月)	4	日本国憲法	
4	4/16(木)	1	基本的人権①	
5	4/20(月)	4	基本的人権②	
6	4/23(木)	1	三権分立①	
7	4/27(月)	4	三権分立②	
8	4/30(木)	1	国会	
9	5/7(木)	1	内閣	
10	5/11(月)	4	裁判所	
11	5/14(木)	1	地方自治	
12	5/18(月)	4	選挙制度	
13	5/21(木)	1	国際政治	
14	5/25(月)	4	市場・価格	
15	5/28(木)	1	企業	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価 (平常点)	0 %	学習成果評価 (定期試験)	100 %

開講年度	令和 2 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	社会科学演習 I			担当者名	加藤 佳明
学科	職業実践科	コース	公務員コース		学年 1年

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
16	6/1(月)	4	景気・物価	
17	6/4(木)	1	金融①	
18	6/8(月)	4	金融②	
19	6/11(木)	1	財政①	
20	6/15(月)	4	財政②	
21	6/18(木)	1	為替・貿易	
22	6/22(月)	4	国際経済	
23	6/25(木)	1	経済指標	
24	6/29(月)	4	日本経済史	
25	7/2(木)	1	経済学史・経済用語	
26	7/6(月)	4	労働事情	
27	7/9(木)	1	社会保障・情報化・環境問題	
28	7/13(月)	4	問題演習①	
29	7/16(木)	1	問題演習②	
30	7/20(月)	4	問題演習③	

開講年度	令和 2 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	文章演習 I			担当者名	瀬木 翼
学科	職業実践科	コース	公務員コース		学年 1年
授業時間	総時間数 1,350 分		総授業回数 15 回		授業形態 講義
	( 90 分授業を、週 1 回で 15 週実施 )				単位数 2単位
授業内容	公務員試験の「文章理解」(現代文)分野を一から講義することにより、傾向と対策を知ることができる。また、事務適性検査の練習も行う。				
到達目標	「文章理解」の問題が解けるようになる。				
担当教員 実務経験	学習塾を経営する会社での講師経験とリラクゼーションスペースを運営する会社での接客経験を活かし、学生ひとりひとりの現状と心情を把握し、求められる指導を行う。				
使用教材	”絶対”合格シリーズ 文章理解 (麻生キャリアサポート)				

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
1	4/6(月)	2	ガイダンス 文章理解の出題傾向	
2	4/13(月)	2	1 内容一致	
3	4/20(月)	2	1 内容一致	
4	4/27(月)	2	1 内容一致	
5	5/11(月)	2	1 内容一致	
6	5/18(月)	2	2 要旨	
7	5/25(月)	2	2 要旨	
8	6/1(月)	2	2 要旨	
9	6/8(月)	2	3 文章整序	
10	6/15(月)	2	3 文章整序	
11	6/22(月)	2	3 文章整序	
12	6/29(月)	2	4 空欄補充	
13	7/6(月)	2	4 空欄補充	
14	7/13(月)	2	6 その他	
15	7/20(月)	2	まとめの授業	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価 (平常点)	20 %	学習成果評価 (定期試験)	80 %

開講年度	令和 2 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	作文演習 I			担当者名	長谷川 靖洋
学科	職業実践科	コース	公務員コース		学年 1年
授業時間	総時間数 1,350 分		総授業回数 15 回		授業形態 講義
	( 90 分授業を、週 1 回で 15 週実施 )				単位数 2単位
授業内容	適性検査のトレーニングを行うとともに、作文の書き方を教え、公務員試験の作文試験の対策を行う。				
到達目標	適性検査が速くなる。作文が書けるようになる。				
担当教員 実務経験	学習塾を経営する会社での講師経験や情報システム会社での失業者職業訓練の経験を活かし、公務員試験対策と学習方法について、分かりやすく指導する。				
使用教材	公務員合格ゼミ 理科 (いいずな書店)				

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
1	4/8(水)	3	ガイダンス	
2	4/15(水)	3	適性検査トレーニング 作文の書き方	
3	4/22(水)	3	適性検査トレーニング 作文の書き方	
4	5/13(水)	3	適性検査トレーニング 作文の書き方	
5	5/20(水)	3	適性検査トレーニング 作文試験トレーニング	
6	5/27(水)	3	適性検査トレーニング 作文試験トレーニング	
7	6/3(水)	3	適性検査トレーニング 作文試験トレーニング	
8	6/10(水)	3	適性検査トレーニング 作文試験トレーニング	
9	6/17(水)	3	適性検査トレーニング 作文試験トレーニング	
10	6/24(水)	3	適性検査トレーニング 作文試験トレーニング	
11	7/1(水)	3	適性検査トレーニング 作文試験トレーニング	
12	7/8(水)	3	適性検査トレーニング 作文試験トレーニング	
13	7/15(水)	3	適性検査トレーニング 作文試験トレーニング	
14	7/22(水)	3	適性検査トレーニング 作文試験トレーニング	
15	7/27(月)	3	適性検査トレーニング 作文試験トレーニング	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価 (平常点)	20 %	学習成果評価 (定期試験)	80 %



開講年度	令和 2 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	資料分析 I			担当者名	瀬木 翼
学科	職業実践科	コース	公務員コース		学年 1年
授業時間	総時間数 1,350 分	総授業回数 15 回	授業形態	講義	
	( 90 分授業を、週 1 回で 15 週実施 )		単位数	2単位	
授業内容	公務員試験の「資料解釈」分野を一から講義することにより、傾向と対策を知ることができる。また、事務適性検査の練習も行う。				
到達目標	「資料解釈」の問題が解けるようになる。				
担当教員 実務経験	学習塾を経営する会社での講師経験とリラクゼーションスペースを運営する会社での接客経験を活かし、学生ひとりひとりの現状と心情を把握し、求められる指導を行う。				
使用教材	公務員合格ゼミ 数的推理 (いづな書店)				

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
1	4/10(金)	1	適性検査① ガイダンス	
2	4/17(金)	1	適性検査② Ⅲ-1 指数	
3	4/24(金)	1	適性検査③ Ⅲ-1 指数	
4	5/1(金)	1	適性検査④ Ⅲ-2 増加率	
5	5/8(金)	1	適性検査⑤ Ⅲ-2 増加率	
6	5/15(金)	1	適性検査⑥ Ⅲ-3 割合	
7	5/22(金)	1	適性検査⑦ Ⅲ-4 実数	
8	5/29(金)	1	適性検査⑧ Ⅲのまとめ	
9	6/5(金)	1	適性検査⑨ Ⅱ-4 角度	
10	6/12(金)	1	適性検査⑩ Ⅱ-4 角度	
11	6/19(金)	1	適性検査⑪ Ⅱ-5 円の性質	
12	6/26(金)	1	適性検査⑫ Ⅱ-6 図形の相似	
13	7/3(金)	1	適性検査⑬ 資料解釈総合問題①	
14	7/10(金)	1	適性検査⑭ 資料解釈総合問題②	
15	7/17(金)	1	適性検査⑮ 資料解釈総合問題③	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価 (平常点)	20 %	学習成果評価 (定期試験)	80 %

開講年度	令和 2 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	一般教養 I			担当者名	長谷川 靖洋
学科	職業実践科	コース	公務員コース		学年 1年
授業時間	総時間数 1,350 分		総授業回数 15 回		授業形態 講義
	( 90 分授業を、週 1 回で 15 週実施 )				単位数 2単位
授業内容	公務員試験の出題範囲である「自然科学」のうち、物理・地学の分野について講義を行い、公務員試験の出題傾向を知る。				
到達目標	公務員試験「自然科学」（物理・地学分野）が解けるようになる。				
担当教員 実務経験	学習塾を経営する会社での講師経験や情報システム会社での失業者職業訓練の経験を活かし、公務員試験対策と学習方法について、分かりやすく指導する。				
使用教材	公務員合格ゼミ 理科（いいずな書店）				

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
1	4/8(水)	1	ガイダンス IV-1 地球	
2	4/15(水)	1	IV-1 地球	
3	4/22(水)	1	IV-3 気象	
4	5/13(水)	1	IV-3 気象	
5	5/20(水)	1	IV-2 天体	
6	5/27(水)	1	IV-2 天体	
7	6/3(水)	1	I-1 速度と距離	
8	6/10(水)	1	I-1 速度と距離	
9	6/17(水)	1	I-2 力	
10	6/24(水)	1	I-2 力	
11	7/1(水)	1	I-3 エネルギー	
12	7/8(水)	1	I-3 エネルギー	
13	7/15(水)	1	I-4 波	
14	7/22(水)	1	I-5 電気	
15	7/27(月)	1	I-5 電気	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価（平常点）	20 %	学習成果評価（定期試験）	80 %

開講年度	令和 2 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	公務員対策 I			担当者名	松井 幸三郎
学科	職業実践科	コース	公務員コース		学年 1年
授業時間	総時間数 1,350 分 総授業回数 15 回			授業形態	講義
	( 90 分授業を、週 1 回で 15 週実施 )			単位数	2単位
授業内容	公務員試験にて出題される「地理」の範囲について一から講義をし、公務員試験が解ける力をつける。				
到達目標	「地理」の基本事項を覚えることができ、公務員試験の出題形式の問題が解けるようになる。				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	”絶対”合格シリーズ 人文科学 (麻生キャリアサポート)				

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
1	4/9(木)	4	ガイダンス 1 気候(1)	
2	4/16(木)	4	1 気候(1) 2 気候(2)・土壌	
3	4/23(木)	4	3 風・日本の気候 4 地形(1)	
4	4/30(木)	4	5 地形(2) 6 地形(3)	
5	5/7(木)	4	7 地図 8 世界の農牧業(1)	
6	5/14(木)	4	9 世界の農牧業(2) 10 生産量・輸出量・発電	
7	5/21(木)	4	11 東アジア(1) 12 東アジア(2)	
8	5/28(木)	4	13 東南アジア(1) 14 東南アジア(2)	
9	6/4(木)	4	15 南アジア 16 西アジア	
10	6/11(木)	4	17 アフリカ 18 ヨーロッパ(1)	
11	6/18(木)	4	19 ヨーロッパ(2) 20 ロシア・旧ソ連諸国・中央アジア	
12	6/25(木)	4	21 北アメリカ 22 南アメリカ	
13	7/2(木)	4	23 オセアニア 24 人口 25 漁業・産業	
14	7/9(木)	4	まとめの授業	
15	7/16(木)	4	まとめの授業	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価 (平常点)	20 %	学習成果評価 (定期試験)	80 %

開講年度	令和 2 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	調剤報酬請求事務 I			担当者名	早川 裕巳
学科	職業実践科	コース	公務員コース		学年 1年
授業時間	総時間数 2,700 分 総授業回数 30 回			授業形態	講義
	( 90 分授業を、週 2 回で 15 週実施 )			単位数	4単位
授業内容	医療保険制度、受付マナー、処方箋より調剤報酬の算定、レセプト作成を行う。				
到達目標	医療保険制度の基礎知識、調剤報酬請求の流れと点数の算定、明細書の記載方法の習得				
担当教員 実務経験	医療施設の経営効率化、患者満足度向上などの経営課題解決に向けた業務を担当した経験により、実務を見据えた医療事務教育に力を入れている。				
使用教材	医療保険制度と接遇マナー編、調剤報酬編、保険薬早見表、マイベストノート				

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
1	4/9(木)	1	医療保険制度	
2	4/9(木)	2	''	
3	4/16(木)	1	''	
4	4/16(木)	2	患者接遇と受付事務	
5	4/23(木)	1	''	
6	4/23(木)	2	確認テスト	
7	4/30(木)	1	調剤報酬と薬剤入門	
8	4/30(木)	2	''	
9	5/7(木)	1	調剤報酬点数表	
10	5/7(木)	2	''	
11	5/14(木)	1	薬剤計算	
12	5/14(木)	2	''	
13	5/21(木)	1	''	
14	5/21(木)	2	調剤報酬明細書記載要領	
15	5/28(木)	1	処方箋例題	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価 (平常点)	20 %	学習成果評価 (定期試験)	80 %

開講年度	令和 2 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	調剤報酬請求事務 I			担当者名	早川 裕巳
学科	職業実践科	コース	公務員コース		学年 1年

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
16	5/28(木)	2	処方箋例題	
17	6/4(木)	1	調剤報酬明細書作成	
18	6/4(木)	2	〃	
19	6/11(木)	1	〃	
20	6/11(木)	2	〃	
21	6/18(木)	1	〃	
22	6/18(木)	2	〃	
23	6/25(木)	1	調剤報酬明細書点検	
24	6/25(木)	2	〃	
25	7/2(木)	1	〃	
26	7/2(木)	2	〃	
27	7/9(木)	1	〃	
28	7/9(木)	2	修了試験	
29	7/16(木)	1	〃	
30	7/16(木)	2	〃	

開講年度	令和 2 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	医療心理学 I			担当者名	早川 裕巳
学科	職業実践科	コース	公務員コース		学年 1年
授業時間	総時間数 1,350 分		総授業回数 15 回		授業形態 講義
	( 90 分授業を、週 1 回で 15 週実施 )				単位数 2単位
授業内容	「患者心理と接遇」のテキストを使用し、ホスピタリティについて学ぶ。				
到達目標	社会人として必要な接遇マナーについて医療機関での事例を中心に考え、体得する。				
担当教員 実務経験	医療施設の経営効率化、患者満足度向上などの経営課題解決に向けた業務を担当した経験により、実務を見据えた医療事務教育に力を入れている。				
使用教材	メディカルフロントコンシェルジュ講座「患者心理と接遇」「車椅子」				

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
1	4/6(月)	2	他己紹介してみよう	
2	4/13(月)	2	患者心理について	
3	4/20(月)	2	患者接遇（サービスの基本）	
4	4/27(月)	2	”	
5	5/11(月)	2	患者様の側に立った接遇	
6	5/18(月)	2	”	
7	5/25(月)	2	クレーム対応と対策	
8	6/1(月)	2	顧客満足度の向上	
9	6/8(月)	2	覚えておきたい医療用語	
10	6/15(月)	2	事例を考える	
11	6/22(月)	2	”	
12	6/29(月)	2	”	
13	7/6(月)	2	車椅子の操作	
14	7/13(月)	2	”	
15	7/20(月)	2	まとめ	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価（平常点）	20 %	学習成果評価（定期試験）	80 %

開講年度	令和 2 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	プレゼンテーション I			担当者名	長谷川 靖洋
学科	職業実践科	コース	公務員コース		学年 1年
授業時間	総時間数 1,350 分	総授業回数 15 回	授業形態		講義
	( 90 分授業を、週 1 回で 15 週実施 )			単位数	2単位
授業内容	本校の授業で習った内容を総合的に問題演習し、授業内容の定着を図る。また、事務適性検査の練習も行う。				
到達目標	問題演習を行い、正答率を上げることができる。				
担当教員 実務経験	学習塾を経営する会社での講師経験や情報システム会社での失業者職業訓練の経験を活かし、公務員試験対策と学習方法について、分かりやすく指導する。				
使用教材	週例テスト（長谷川自作）・事務適性検査過去問				

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
1	4/6(月)	1	ガイダンス 公務員試験・事務適性検査とは？	
2	4/13(月)	1	週例テスト・事務適性検査(1)	
3	4/20(月)	1	週例テスト・事務適性検査(2)	
4	4/27(月)	1	週例テスト・事務適性検査(3)	
5	5/11(月)	1	週例テスト・事務適性検査(4)	
6	5/18(月)	1	週例テスト・事務適性検査(5)	
7	5/25(月)	1	週例テスト・事務適性検査(6)	
8	6/1(月)	1	週例テスト・事務適性検査(7)	
9	6/8(月)	1	週例テスト・事務適性検査(8)	
10	6/15(月)	1	週例テスト・事務適性検査(9)	
11	6/22(月)	1	週例テスト・事務適性検査(10)	
12	6/29(月)	1	週例テスト・事務適性検査(11)	
13	7/6(月)	1	週例テスト・事務適性検査(12)	
14	7/13(月)	1	週例テスト・事務適性検査(13)	
15	7/20(月)	1	週例テスト・事務適性検査(14)	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価（平常点）	20 %	学習成果評価（定期試験）	80 %

開講年度	令和 2 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	ビジネス演習 I			担当者名	松井 幸三郎
学科	職業実践科	コース	公務員コース		学年 1年
授業時間	総時間数 1,350 分		総授業回数 15 回		授業形態 講義
	( 90 分授業を、週 1 回で 15 週実施 )				単位数 2単位
授業内容	公務員試験・漢字検定に向けた「漢字テスト」の実施ならびに、公務員試験で知っておきたい一般常識について講義する。また、適性検査の練習も行う。				
到達目標	漢字の読み取り・書き取りの力が向上し、一般常識が分かるようになる。				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	新編 級別漢字セミナー (浜島書店) 一般常識チェック&マスター (実教出版)				

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
1	4/9(木)	1	漢字テスト① ガイダンス ことわざ/故事成語	
2	4/16(木)	1	漢字テスト② ことわざ/故事成語	
3	4/23(木)	1	漢字テスト③ 四字熟語 (I)	
4	4/30(木)	1	漢字テスト④ 四字熟語 (I)	
5	5/7(木)	1	漢字テスト⑤ 四字熟語 (II)	
6	5/14(木)	1	漢字テスト⑥ 国語の常識問題 (I)	
7	5/21(木)	1	漢字テスト⑦ 国語の常識問題 (II)	
8	5/28(木)	1	漢字テスト⑧ 国民福祉	
9	6/4(木)	1	漢字テスト⑨ 社会の常識問題 (I)	
10	6/11(木)	1	漢字テスト⑩ 社会の常識問題 (II)	
11	6/18(木)	1	漢字テスト⑪ 読みにくい漢字	
12	6/25(木)	1	漢字テスト⑫ 同音異義語の書き取り	
13	7/2(木)	1	漢字テスト⑬ 同訓異義語の書き取り	
14	7/9(木)	1	漢字テスト⑭ 同義語・対義語/漢字の総合問題	
15	7/16(木)	1	漢字テスト⑮ 総合問題	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価 (平常点)	20 %	学習成果評価 (定期試験)	80 %